



県内経済の動き

概 況

〔 6 月～ 8 月の動き 〕

一部に緩やかな持ち直しの兆し。

生産活動は一進一退の動き。大型小売店の総販売額（7月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年を上回った。乗用車の販売台数（8月 軽自動車を含む）は、14カ月連続で前年比減少し、新設住宅着工戸数（7月）も2カ月ぶりに前年比減少した。公共工事（7月 保証対象請負総額）は6カ月連続で前年を下回り、輸出額（7月 細島港）は8カ月連続で前年比増加した。有効求人倍率（7月：1.04倍）は前月比0.04ポイント上昇した。

県内経済は、全体としては横ばい圏にあるが、一部に緩やかな持ち直しの兆しがうかがえる。

（黒木）